

「ふれあい」から「学びあい協力しあう」関係へ
クマモト国際交流週間

「対一の「線」交流から、 四地域間の「面」交流へ。 新たな国際交流が始まった。

県は昭和五十七年から海外との交流を積極的に進め、姉妹(友好)提携を行うなど活発な活動を続けてきました。県はさらに国際交流を進めようと、去る五月二十一日から二十九日まで、「クマモト国際交流週間」を開催。県と姉妹(友好)提携関係にある中華人民共和国広西壮族自治区、アメリカ合衆国モンタナ州、大韓民国忠清南道の首長が意見交換を行う行政首長会議、記念ワークショップ、草の根の交流団体を中心とした協賛イベントなど様々な催しが行われました。

共同声明

平成6年5月26日・27日の両日、日本国熊本県と友好・姉妹提携関係にある中華人民共和国広西壮族自治区、大韓民国忠清南道、アメリカ合衆国モンタナ州、及び熊本県の地方政府代表者が、熊本県において一堂に会した。
各代表者は、環太平洋地域が世界でも最も著しい成長をとげている地域のひとつであることを認識し、併せて、地域レベルでの交流が、中華人民共和国、日本、大韓民国、アメリカ合衆国の友好関係にとって、不可欠のものであるとの認識で一致した。
また、グローバル化が進化する中で、民族や国境、社会事情の違いを越えた交流の拡大は、地方レベルにおいても有形無形の利益をもたらすものであることを確認した。
本会議では、これまでの交流の成果を踏まえながら、解決すべき共通の地域課題、及びお互いが共に関心を持つ事項を確認し、併せて、今後の多角的な地域間交流のあり方について、率直かつ有益な意見交換を行った。
各代表者は、本会議の成果を高く評価し、その趣旨にそって共に努力していくこととした。また、平等互恵の原則のもと、各地域の社会・行政・経済・文化等の実情に配慮しつつ取り組みを行っていくことで合意した。個別合意事項は別議定書のとおりである。

平成6年5月27日

行政首長会議

(知事サミット)
姉妹(友好)提携地域の
四力国トップ会談実現

姉妹(友好)提携の各地域が抱える課題を出し合い、今後の地域間交流・相互協力の在り方について考える「行政首長会議」が期間中二回にわたって開かれました。首長たちは、地域間交流の推進が各地域の発展に大きく寄与することを認識し合うとともに、共同声明を発表より一層の交流拡大を約束しました。

●合意事項は、おおむね次のとおりです。
経済や農業などの産業技術交流、あるいは環境保護や保健医療分野における交流を促進するために、専門家や研修員の派遣拡大に関する協議が開始されます。また、産業面や観光面での情報交換の促進も合意されました。
福祉・文化・教育の分野においては、障害者などのスポーツ交流や、青少年交流、大学間交流などが一層進められることとなります。

具体的な話では、今秋、本県で開催される「第二回地域伝説芸能全国フェスティバル」へ各地域からの参加が決定。また、「第四回全国食文化交流フラザ」や平成十一年開催の国体についても、福島知事は、各地域からの参加を呼び掛けています。

首長に インタビューしました



■マーク・ラスコー知事 アメリカ合衆国モンタナ州

「これまでの交流を通して、熊本とは、友情と信頼を育んできました。今後はさらに経済・環境問題に発展するかどうかの段階だと思えます。美しい風景、素晴らしい人々、お風呂や箸を使つての食事など、熊本での経験は、忘れられない思い出になるでしょう」



■雷宇副主席 中華人民共和国広西壮族自治区

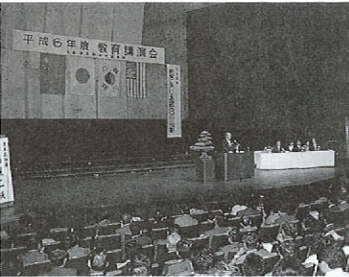
「熊本は農業・工業ともに基礎がしっかりしているという印象を持ちました。それは県民の皆さんが目標を高く持ち、追求しているからだと思えます。中国はまだ外国から勉強する時代。熊本へ派遣した研修生たちが中心になって、交流を一層進めていくことでしよう」



■朴重培知事 大韓民国忠清南道

「情熱的な火山、おいしい水。熊本は観光資源が豊富で美しい所です。県民の方々の親切にも触れることができました。わが国は市場の国際的な開放などの施策を重視しており、今回の会議をきっかけに、今後、米中の2地域とも、経済交流・協力を行っていく予定です」

5月21日~29日
**強い友情の絆が
結ばれた!**
~国際交流週間ショット~



教育講演
「相手を思いやり、痛みの分かる人間味あふれた人材の涵養が、国際交流を深める上でも大切です」。福島知事 ~教育講演会より~



特別講演
「国際的な競争が激化している現在、広西でも世界に目を向けた教育が身近な問題になってきました」。中国広西壮族自治区の雷宇副主席 ~熊本学園大学での特別講演より~



県民とのつどい
食卓を囲んでの和やかなひととき



阿蘇火口見物
ハードスケジュールの合間の阿蘇火口見物。ガスのため火口はよく見えませんでした。残念!



行政首長会議
第1回目は益城町のテクノポリスセンター、第2回目は小国町木曜館にて開かれました



共同声明調印式
今後一層の交流拡大を約束して...

知事室から



「クマモト国際交流週間」の開催中、中国広西壮族自治区、米国モンタナ州、韓国忠清南道から多くの方々が来県され、わたしたち熊本県民ともども様々な分野で友好の輪をひろげられ帰国されました。
「クマモト国際交流週間」は、わたしが昨年八月に韓国忠清南直との姉妹提携十周年記念行事に出席するために忠清南道を訪問した際に、忠清南道(韓国)、広西壮族自治区(中国)、モンタナ州(米国)そして熊本県の各首長による、知事サミット(パシフィック・スクエア・サミット)を提案したことをきっかけとして実現したものです。準備を進めて

いくうちに、単に知事サミットにとどまらず、経済、教育、環境など各分野の専門家が集い協議するワークショップや、多くの民間国際交流団体が協賛するイベントの展開へと発展し、同週間を開催することができました。
本県は一九八二年以来、各地域と姉妹(友好)提携関係にあります。クマモト国際交流週間を通じて、各地域がお互いのパートナーシップを再認識し、学び合い協力し合う関係づくりを進めるとともに、草の根レベルでの交流も展開され、各地域にとってたいへん意義深いものとなりました。そして、今回育んだ友情は、これからの各地域間交流にとって大きな財産になるものと確信しています。
わたし自身も、今回多くの友を得ることができ喜んでおりましたところ、中国は豪雨による大水害で広西壮族自治区でも多くの方々が被災されたと聞き胸が痛んでおりました。しかし一方で、県民の中国の友を思う気持ちが舞臺に立ったというように、たいへん感激しているところでもあります。